

2023年2月3日

各 位

住 所 東京都渋谷区道玄坂一丁目2番3号
 会 社 名 GMOフィナンシャルホールディングス株式会社
 代 表 者 代表執行役社長 COO 石村 富隆
 (コード番号: 7177 東証スタンダード)
 問 合 せ 先 常 務 執 行 役 CFO 山 本 樹
 T E L 03-6221-0183
 U R L <https://www.gmofh.com/>

期末の剰余金の配当（無配）に関するお知らせ

当社は、2023年2月3日開催の取締役会において、2022年12月期の期末（2022年12月31日）を基準日とする剰余金の配当を行わないことを決議しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (2022年10月25日公表)	前期実績 (2021年12月期第4四半期末)
基準日	2022年12月31日	同左	2021年12月31日
1株当たり配当金	0円00銭	0円00銭	10円85銭
配当金総額	—	—	1,231百万円
効力発生日	—	—	2022年3月22日
配当原資	—	—	利益剰余金

2. 理由

当社は、株主に対する利益還元と内部留保の充実を総合的に勘案し、収益性、成長性、企業体質の強化を考慮しつつ、継続的かつ安定的に配当を行うことを基本方針としております。2022年12月期については、親会社株主に帰属する当期純利益に対する配当性向50%以上を目途に、四半期ごとに配当することを目標としております。

しかしながら、2022年12月期末（2022年12月31日）を基準日とする剰余金の配当については、2022年12月期第3四半期連結会計期間（2022年7月1日～9月30日）における親会社株主に帰属する四半期純損失の計上に加えて、2022年12月期第4四半期連結会計期間（2022年10月1日～12月31日）においても、タイ王国で証券事業を行う当社連結子会社が貸倒引当金繰入額を販売費及び一般管理費に計上したことにより親会社株主に帰属する四半期純損失を計上することとなったことを勘案し、2022年10月25日に公表した配当予想の

とおりに、誠に遺憾ではございますが無配とさせていただきます。株主の皆様におかれましては、何卒、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

なお、2023年12月期の配当につきましては、親会社株主に帰属する当期純利益に対する配当性向50%以上を目途に、四半期ごとに配当することを目標とすることといたします。また、当社及び連結子会社の主な事業である証券・FX事業及び暗号資産事業は、経済情勢や市況環境の影響を強く受けており、業績予想を行うことが困難であるため、当社は連結業績予想を開示しておらず、同様に配当予想についても開示しておりません。今後、配当予想額の開示が可能となった時点で速やかに開示を行う予定です。

(参考) 配当金推移

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
当期実績	12円50銭	8円50銭	0円00銭	0円00銭	21円00銭
前期実績 (2021年12月期)	19円70銭	11円52銭	10円10銭	10円85銭	52円17銭

以上